県・市の、◎方針と☆重点 【県】

◎ふるさとに誇りをもち、「清流の国ぎ ふ」を担う子供たちの育成

☆資質・能力を育むICT活用の推進 ☆白他のいのちを大切にする教育の推進

たくましく生きる基礎を育てる学校教育 ◎学ぶ喜びと学ぶ意欲を育てる授業

- ◎磨き合いと活力のある学校
- ◎地域とともに進める教育
- ☆教科指導 ☆特別支援教育

学校課題及び経営方針

児童の主体性を育む

- ・児童が主体的に学ぶ授業を行う
- ・ふるさと教育の充実を図る
- ・児童の自己肯定感を育み、高める

児童の実態

- 〇わかりやすく話し、反応しながら聞く等、 素直に学ぶことができる。
- 〇異学年との助け合いが自然にできる。
- O役割に責任をもって取り組むことができる。
- 〇本物を目にしたとき感動することができる。
- △学習の定着に大きな差がある。

保護者や地域の願い

- ・確かな学力を定着させたい。
- ・自分の命と他者の命を大切に考える子を育てたい。
- ・相手の気持ちを思いやり、温かい言葉をかける子を育 てたい。
- ・「ありがとう」と素直に言う子を育てたい。
- ・ふるさとの魅力に気付かせたい。
- ・健康な心と体をつくる子を育てたい。

学校の教育目標

よりよく生きぬく釜っ子

たくましい子

- 自分から(進んで)
- ・体づくりをする子 ・自他の命を守る子 (危険から退避する)
- ・あきらめずに挑戦する子

よく考える子

- 自分から(進んで) ・よりよい方法を考える子
- ・仲間の意見を取り入れ、考えを 広げる・深める・変更する子
- ・めあてを達成しようと努力する子

思いやる子

- 自分から(進んで)
- ・ありがとうを伝える子 ・相手の事を「家族」と思って 接する子
- ・違いを受け入れる子

【体づくりをする子の育成】

- 〇健康的な生活習慣を身に付けようとする態度を育 てる。(家庭との連携)
- ・健康観察で把握:早寝・早起き・朝ごはん・睡眠 ◎外遊びを通して、運動の楽しさを味わおうとする
- 意欲を育てる。
- ・20分休みの外遊び・昼休みの外遊び、学級遊び等

【よりよい方法を考える子の育成】

- ◎課題化を大事にする授業を仕組む。 ・意識のずれを実感し、継続した思考の流れを大事
- にする(途中で考えを変えることを是とする)
- 〇日常生活におきたトラブルを解決する方法は1つ ではないことを理解し、よりよい方法を考えよう とする態度を育てる。

【ありがとうを伝える子の育成】感謝する子

- ◎家庭・地域・学校の中の「ありがたさ」に気付く態 度を育てる。
- ・当たり前に思っていることが、誰かの日々の努力の上に成 り立っていることを知り、感謝する態度を育てる。
- 「ありがとう」という感謝の気持ちの伝え方を学 び、活用しようとする態度を育てる。(コミスク)

【命を守る子の育成】

- O指示や説明をしっかり聞こうとする態度を育てる。
- ・行事訓練以外にもシェイクアウト訓練等を行う。 ◎意識的に病気や危険から遠ざかる実践力を育てる。
- ・感染症・交通事故・水難事故の指導。
- ◎SOSを出す技能を育てる。
- ・自分が困ったときに相談する人を想定させておく。
- ・「自分の命=相手の命」の大切さを指導する。

【仲間の意見を取り入れる子の育成】

- ◎授業の終末において、考えの変容や根拠を価値付 ける。→自己有用感を高める。
- ・自分の考えをもち、仲間と交流することで意見を 変えたり、深めたりするよう促す。
- Oトラブル解決に向けて、自他の思いの共有に導 く指導を行う。
- 【相手を家族と思って接する子の育成】想像力を働かせる ◎相手の立場(自分の家族だったら…)で考え、判断 しようとする態度を育てる。
- 〇 (支援を得ながらでも) 相手の気持ちをわかろうと する態度を育てる。
- 相手の感じ方は、自分の感じ方と違うかも…。 ・相手のためにできることを考える。

【あきらめず挑戦する子の育成】

- ◎授業において終末までの見通しもち、自分なりの 解決にたどりつこうとする態度を育てる
- (体育時等で) 技の習得において、あきらめない で練習し、上達を実感する意欲を育てる。
- ・鉄棒や縄跳びなどの技の完成を課題とする場面に おいて、あきらめないで練習する。

【めあてをもち、達成する子の育成】

- ◎生活・学習のめあてを「見える化・聞こえる化」 する。
- ・目に見えるめあてを掲げ、確実に評価する。
- ◎夢や憧れをもつ機会を提供する。(コミスク)
- ・本物に触れる機会を与え、意識の変容を価値付け る。(読書等で多様な生き方、考え方を価値付ける)

【違いを大切に(人権を尊重)する子の育成】

- ◎違いを理解し、受け入れようとする態度を育てる。
- ・時には折り合いも必要と考える
- ・何でも話せる安心感の中で気持ちを吐露する。
- ・根拠をもって意見を対立する(違いは大事)。
- 〇差別・いじめをゆるさない態度を育てる。
- ・自他ともに心や体を傷付ける言動をしない。

釜 強 戸 小 み ഗ

地域との協働(自己肯定感を育むコミスクの活用)

- 〇地域資源を活用した学習活動(学習・地域活動部会)
- ・地域の人や自然、歴史、文化を学ぶ(ふるさと学習)
- ・授業支援を受ける。(植物育て、ミシン、木工、福祉等) 〇地域行事への積極的な参加(学習・地域活動部会)
- ・異世代の方々とふれあい、地域の魅力を体験する。

・通学路の整備と安全保持の協働に感謝する。

〇地域の力で環境整備(安全・環境部会)

《釜戸小6つの宝》

- ・堂々発表 ・いつでも読書
- ・笑顔の挨拶
- ・ピカピカ掃除 ・元気な外遊び
- 自分で健康安全

家庭との協働(発信意欲の育成)

- 〇「願い」の共有 ・「育ち具合」の交流
- 《共有と交流の場》PTA総会・授業参観・個人懇談・釜戸小 だより・PTA広報紙「しろがね」・保健だより・学級通信 ・PTA活動・HP・子供の姿を電話連絡(双方で褒める目的)
- 〇児童の発信力「今日、思ったこと、学んだこと」
 - 「児童は保護者に伝え、保護者はしっかりと聞く」家庭で の会話を大事にする

めざす職員像 》

役割遂行 & 温かくつながるTEAM釜小

〇命を守り切る職員

- ・ヒヤリハット共有→即時対応
- ・「命」を最優先させる
- ・危機管理の「さしすせそ」
- 〇ウエルビーイングを築き合う職員
 - ・働きがいと働きやすさの「両立」
- ・「今やること」の見極め、声かけ ・仲間とHELPの出し合い、助け合い
- ・保護者(児童)と温かくつながる
- 〇自らの主張がある職員
 - ・自己肯定感の育成に持論をもつ
 - ・組織の中の立場で語る
- ・自他の折り合いを付ける
- 〇プロ意識と良識のある職員
 - ・意図的、計画的、組織的な実践
- ・PDCAサイクルで実現する質の向上
- ・姿や言動が与える影響の自覚
- ・研修で高める知識と意識